

# 個人を元気にし、 組織を活性化するための仕組みづくり モチベーション向上研修

主事 主任 主査 係長 課長補佐 課長

## <個人編>

### 研修のねらい

- モチベーションを高めたり、維持するポイントを習得します。
- 自分だけでなく、周囲の人を巻き込むモチベーション力を身に付けることをめざします。

入庁から年数が経過すると、誰もが組織内で叱られたり、住民からのクレームに対応したり、自分が希望する配属先と異なるなど、モチベーションが低下する経験を繰り返します。

この研修では、マイナス思考や消極的思考に陥ったり引きずったりするのではなく、自らを動機付け、プラス思考で積極的な姿勢に転換する手法を習得します。

## <組織編>

### 研修のねらい

- モチベーション形成の仕組みと個々のモチベーション形成の違いを理解します。
- 職場のコミュニケーションを活性化し、組織力を高めます。

急激な社会変化に対応するためには、職員一人ひとりがモチベーションを高めて業務に取り組むとともに、個々の職員のモチベーション向上につながる組織としての対応も重要です。

この研修では、管理監督職がモチベーションの仕組みを理解し、部下のモチベーション形成で問題と感ずることを共有し、即、実践できる方策を立てることをめざします。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

個人編(1日コース)	
午前	<b>1. 自分のモチベーションタイプの把握</b> (1) 交流分析による診断 (2) 3つの良いこと ◇ 個人ワーク・グループ討議 ◇
	<b>2. 3種類の承認と周囲との関わり</b> (1) 上司に求めること、後輩に求めること (2) 過去に嫌だったこと、良かったこと ◇ 個人ワーク・グループ討議 ◇
	<b>3. マイナス思考からプラス思考へ</b> (1) マイナス発想のメカニズム (2) 発想転換のポイント ◇ 個人ワーク・グループ討議 ◇
午後	<b>4. ゴールの設定</b> (1) 目的・目標・ゴール (2) モチベーションアップへのステップ ◇ 個人ワーク・グループ討議 ◇
	<b>5. セルフ・ペップトーク</b> (1) モチベーションを高めるストーリー (2) キーワードと自分を励ます言葉 ◇ 個人ワーク・グループ討議 ◇
	<b>6. 組織モチベーション</b> (1) 組織全体のモチベーションアップ (2) 自分と組織の関わり方 ◇ 個人ワーク・グループ討議 ◇
	<b>7. まとめ</b>

組織編(1日コース)	
午前	<b>1. モチベーションの仕組み</b> (1) 動機付け要因と衛生要因 ◇ 個人ワーク・グループ討議 ◇
	(2) 自身のモチベーションスタイルの振り返り ◇ 個人ワーク・ペアワーク ◇
	<b>2. 捉え方の違いとモチベーション</b> ◇ 個人ワーク・ペアワーク ◇ ◇ 個人ワーク・グループ討議 ◇
午後	<b>3. 組織力強化の成功循環モデル</b> (1) 成功循環の4つの質 ◇ 個人ワーク・グループ討議 ◇
	<b>4. 部下育成につながるコミュニケーション方法</b> (1) 人材育成プロセス ◇ 自己点検ワーク ◇
	(2) 育成課題の共有 ◇ 個人ワーク・グループ討議 ◇
	(2) 目的別(褒める・叱る・フィードバック)コミュニケーション方法 ◇ 個人ワーク・グループワーク ◇
	<b>5. アクションプラン作成</b> ◇ 個人ワーク・グループワーク ◇
<b>6. まとめ</b>	